

### 市立全小中学校において体育・保健体育の授業にパラスポーツ等を取り入れます ～実践重点校やモデル校での授業、教員を対象としたパラスポーツの実技研修等の実施～

千葉市では、市立全小中学校において、昨年度のモデル校での実践を生かし、新たに体育・保健体育の年間指導計画にパラスポーツを位置付けて、体育・保健体育の授業で実施しますので、お知らせします。

また、より充実した授業ができるように、実践重点校やモデル校での授業、教員を対象としたパラスポーツの実技研修等を実施しますので、併せてお知らせします。

#### 1 経緯・目的

千葉市では、平成29年3月に、東京2020大会に向けて、「千葉市オリンピック・パラリンピック教育実施方針」を策定し、昨年度、モデル校（小学校7校、中学校7校）において体育・保健体育の授業で、パラスポーツ等に取り組みました。実践を通して、運動が苦手な子ども楽しみながら活動する姿が多く見られ、パラスポーツへの関心意欲も高まりました。また、モデル校の実践を報告集にまとめました。

今年度は、その報告集等の内容をもとに、市立全小中学校において、新たに体育・保健体育の年間指導計画にパラスポーツを位置付けて、体育・保健体育の授業でパラスポーツを実施することにより、子供たちは、一層スポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質が向上し、東京2020大会への関心が高まり、スポーツの多様性について理解を深めていきます。

#### 2 パラスポーツ等の授業実施

##### (1) 体育・保健体育での授業（6月上旬～3月中旬）

6月上旬から、順次、各学校の計画に沿って、体育・保健体育の授業でパラスポーツ等の授業を実施します。（※全小学校111校、全中学校55校で実施）

小学校では、ゴールボール又はシッティングバレーボールを、中学校では、シッティングバレーボール及びオリンピック・パラリンピックに関する内容の体育理論を行います。

ア 「ゴールボール」

小学校92校

イ 「シッティングバレーボール」

小学校111校、中学校55校

ウ 「体育理論」

中学校55校

##### (2) 実践重点校での授業（5月下旬～9月中旬）

実践重点校においては、小学校でゴールボール及びシッティングバレーボールを、中学校でシッティングバレーボールを実施し、指導方法等を深めるとともに、教員研修の場とします。

ア 「ゴールボール」

小学校6校

イ 「シッティングバレーボール」

小学校6校、中学校6校

※5月29日（火） 真砂東小学校「シッティングバレーボール」

(3) 車いすバスケットボールのモデル校（9月以降）

車いすバスケットボールのモデル校においては、授業実践を通してよりよい授業の在り方を探っていきます。

ア 小学校2校、中学校2校

(4) 実技研修（教員対象）

「ゴールボール」及び「シッティングバレーボール」の実技研修を実施します。

ア 小学校教員対象 6月13日（水）

イ 小中学校教員対象 8月22日（水）

### 3 その他

オリンピック・パラリンピックに対する興味関心をさらに高揚させるため、千葉市小学校陸上大会へのパラリンピアン等の招聘、パラスポーツの試合観戦などに取り組みます。

### 4 取材について

取材を希望する場合は、取材する日の3日前までに保健体育課（245-5947）へご連絡ください。

#### 《参考》

##### 1 「千葉市オリンピック・パラリンピック教育実施方針」とは

オリンピック・パラリンピックが身近で開催されることを、またとない重要な機会と捉え、オリパラ教育を強力に進める。

社会の課題の発見や解決に向けて他者と協働しつつ主体的に取り組む態度や、多様性の尊重、公德心が育成・向上されることが期待される。

「千葉市行動計画」で示された「ひとづくり」に関する取組事項について、本市教育施策の方向性等も踏まえながら、千葉市オリパラ教育実施方針としてとりまとめ、具体的な事業計画を学校等に示す。 【「千葉市オリンピック・パラリンピック教育 実施方針」（概要版）より】

##### 2 「年間指導計画」とは

学習指導要領に示された体育・保健体育の目標を達成するため、各学校で、地域や学校及び児童生徒の実態を考慮して、各学年の学習内容、授業時数、単元配当等を定めたもの。